

751-0874

下関市秋根新町

4-8

下関上下水道工事業協同組合

代表理事 合田 哲朗 様

1179856



006 0046#



患者に全身麻酔のための気管挿管を行う遠藤

感謝状

下関上下水道工事業協同組合

代表理事 合田 哲朗 様

このたびは、国境なき医師団（MSF）の活動をご支援ください、誠にありがとうございます。
いただいたご寄付は、助けを必要としている人びとに直接医療を届けるために大切に使わせていただくとともに、皆さまの思いも世界各地で活動するスタッフが代わりとなってしっかりと届けてまいります。

南スーダンなどで麻醉科医として活動した遠藤大の現地での経験をお伝えします。

「2022年2月、MSFで大きなニュースがありました。『南スーダンでMSFのスタッフが戦闘に巻き込まれて死亡』。今回の私の活動地がまさにこの南スーダンのアゴクでした。私が南スーダンに到着した時、MSFを含むNGOは別の町に退避を強いられていました。拠点を移すと活動の再開に時間のかかるNGOも多いと聞きますが、MSFは安定したご寄付に支えられているためいち早く医療活動を再開できました。それでも戦闘に巻き込まれて負傷した市民が多くやってくる上に、日本では当然のように使える人工呼吸器や麻酔薬も十分には使えない状況での治療は苦労も多かったです。このような過酷な状況でも医療を届け続けることができたのは、皆さまの応援の気持ちを感じていたからです。日本の支援者の方には感謝してもしきれません。ありがとうございました」

MSFの医療・人道援助活動は、皆さまお一人お一人のご寄付によって支えられています。これからもMSFをご支援くださいますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人
国境なき医師団日本
事務局長
村田 慎二郎

村田 慎二郎